

工学部 グローバル PBL

電子情報工学科 × KMITL(タイ)・UiTM(マレーシア) タイ・バンコクにてプログラムを実施しました

工学部では、グローバルな社会で活躍する技術者を育成するために、各学科の専門科目及び関連科目を学習し、その専門知識や技能をグローバルな環境で活用することを前提に、限られた期間内に協定校等の海外大学で海外の学生と一緒に具体的な課題を主体的に解決するグローバル PBL（国際的課題解決型学習）を 2017 年から展開しています。今年度は、夏休み期間を利用し、工学部電子情報工学科・電子情報工学専攻の学生が約 2 週間の期間で、タイ・バンコクにある海外協定校において、滞在先の海外学生と一緒にグローバル PBL に参加しました。

2022 年 8 月 18 日（木）～26 日（金）の期間に、本学の海外協定校の一つであるタイ・モンクット王工科大学ラカバン校（KMITL）において、工学部グローバル PBL（Project Based Learning）が実施されました。2020 年と 2021 年は、世界的なコロナウィルス流行の影響のために海外渡航ができず、オンラインによるビデオ制作コンテスト: Cross Education Project ※を実施しましたが、今年は 3 年ぶりに現地バンコクに海外渡航しての開催となりました。本プログラムには、工学部 電子情報工学科 6 名の学生（2 年：江口壽昭さん（鳥栖工業高出身）、3 年：安部駿人さん（春日高出身）、木谷友秋さん（武蔵台高出身）、柴田大輝さん（福岡中央高出身）、4 年：三好優衣さん（香椎高出身）、吉住憲人さん（須恵高出身））と電子情報工学専攻の学生（修士 2 年：中島大吾さん（下関工業高出身））が参加し、KMITL のタイ人学生 10 名、ならびに、マラ工科大学（UiTM）のマレーシア人学生 4 名と共同で、「Design of a line follower robot and its function extension（ラインレース・ロボットの設計とその機能拡張）」に取り組みました。

※Cross Education Project 最終報告と受賞式について
<https://www.fit.ac.jp/news/archives/3570>
<https://www.fit.ac.jp/news/archives/3804>



プログラムの実施において、本学学生、KMITL 学生、ならびに、UiTM 学生は、1 グループ 4 名で構成される 7 つの混成チームに分かれ、英語での議論を行いながら、組込み機器のプログラミング、ラインレース・ロボットの作製、および、センサーを用いたロボットの機能拡張に取り組みました。プログラムの最終日には、参加全員学生が英語によるプレゼンテーションで素晴らしい成果を発表し、参加校の教授陣からも高い評価を得ました。

修了認定証の授与

